


## 山 行 報 告 書

山行報告提出者：鈴木

山 域・山 名：三俣蓮華岳 (2841m)		長野県大町市
入 山 日：2021年8月26-28日 (木金土) 2泊3日 帰宅日：8月28日		
プラン担当者 正：鈴木 副：		左三俣蓮華岳 中央右水晶岳 右鷲羽岳
参 加 者	L：報：記：鈴木 (テン泊) 中村、簗島、佐藤な (3名小屋泊) 男 2名、女 2名、計 4名	
	天 候 8月26日：曇時々晴れ 8月27日：快晴 8月28日：晴れ時々曇り	
8月26日 (木)	3：00 各自簗島事務所集合 (鈴木車に乗り換え) 圏央道桶川北本 IC 乗車、長野自動車道松本 IC 下車 新穂高駐車場駐車 8：30 出発-10：00 わさび平-13：00 シシウドヶ原-14：30 鏡平- 17：00 双六小屋 (泊) (行動：8h30m)	
8月27日 (金)	7：00 双六小屋発-8：30 双六岳-10：00 丸山-11：20 三俣蓮華岳 12：00 -14：20 双六小屋 (泊) (行動：7h20m)	
8月28日 (土)	4：40 双六小屋発-5：10 樺沢岳 (ご来光) -5：40 双六小屋戻 (朝食) 6：40 発-9：00 鏡平-10：30 シシウドヶ原-13：00 わさび平- 14：20 新穂高着 平湯の森で入浴し帰宅 (行動：8h40m)	
荒天候時のエスケープルート：山行中止し引き返す。近隣小屋で待機。		
装 備 と 食 糧	共同装備：無し 共同食：無し 車提供者：鈴木	
	個人装備：ヘッドランプ、コンパス、地図、テルモス(水)、帽子、グローブ、スパッツ、 ストック、ツェルト、防寒服、雨具、日焼止、虫除け、サブザック、 お風呂セット (テン泊者) テント一式、シュラフ、マット、調理具、朝夕食×2 個人食：昼食×3、行動非常食	
感 想	三俣山荘が従業員コロナ罹患のため閉鎖になったことや初日の疲労度を鑑み、当初予定の鷲羽岳登頂を手前の三俣蓮華岳に変更した。 8/26 新穂高の無料駐車場はすでに立錐の余地なく、有料(二泊¥5,000)を強いられた。 長い林道歩きの後、小池新道に入るが断続的に続く急登に汗だくとなる。鏡池では生憎雲がかかり定番の槍穂稜線は拝めず。 8/27 朝から文句のつけようのない青空広がる。双六岳・丸山・三俣蓮華岳とアップダウンが続くが、剣・槍・穂はもとより北アのオールスターを眺めながらの稜線歩きは圧巻そのもの、13座の100名山をいっぺんに目の当たりにした。帰路は巻道をゆっくり回り心地よい疲労感を感じながらの到着後は有無を言わせぬ爆睡態勢へと引き込まれた。 8/28 ご来光を狙い近隣の樺沢岳へ登頂、太陽は見えたと槍や北鎌はガス発生で拝めずそそくさと下山し朝食を摂った。土曜だからなのか間断なくやってくる登頂者に驚きながら、脇で待ちつつ長い下山路で機械的に足を動かす。 ちょうど北アルプス南部の中心部に位置する今回の山行は参ったと言わんばかりの抜群の眺望を堪能出来、会心の3daysとなった。	